

お客様に喜ばれ！  
お店も得する！

# ハンガーリサイクルの ご提案



**マルソー産業株式会社**

〒800-0115 北九州市門司区新門司3丁目60-2  
TEL093-481-1122 FAX093-481-3639

# 「ハンガーのリサイクル」 皆さん意識はしていても、実現するには まだまだという方も多いのでは？

そこで・・・

資材コストの削減

お客様の固定化

環境問題への取り組み

を同時に実現できる、ハンガーリサイクルのご提案をさせていただきます

## 資材コストの削減

回収率	ハンガー仕入代	0円回収の 場合の低減額	1本10円で回収の 場合の低減額
0%	317,000	0	0
10%	285,300	▲31,700	▲21,700
30%	221,900	▲95,100	▲65,100
50%	158,500	▲158,500	▲108,500

※当社デラックスリードハンガー 定価31円70銭を 年間10,000本使用する場合。

こんなにコスト削減できます

## お客様の固定化とサービス

- 有償回収すると、家庭にとっては節約
- 「クリーニング券」でお客様を固定化
- 値上げの際の代替サービス

## 環境問題への配慮

- 家庭ゴミの減少
- クリーニング店様からのゴミの減少
- 環境問題に取り組む店という  
イメージアップ

## 回収率を上げるために

- 消費者、特に主婦にとっては**有償回収**は大変魅力です。
- 有償回収の場合、「**クリーニング券**」での回収がお勧めです。お客様の固定化には最も有効です
- ハンガーの種類によって**回収額を買えるのは大変です**ので**一律にすることをお勧め**します。
- 「10本で〇〇」より**1本から受ける**ことが回収率アップになります。  
(10本まとまるまでかさばり、時間もかかる。11本あったら1本は?など)

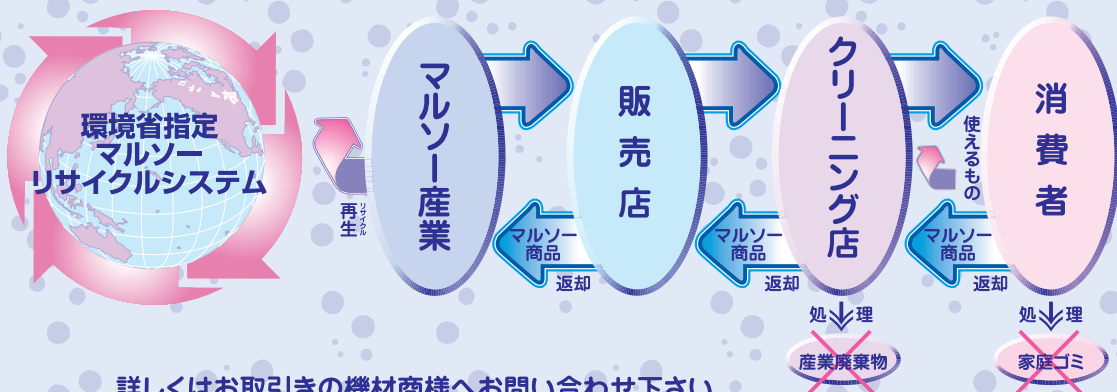
## リユース(再使用)のための作業



- 回収とサービスの実施
- 分別 (ハンガーの種類分け)

### 〔洗浄方法〕

- ①ハンガーを広幅輪ゴムやバンドで束ねる。又はハンガー洗浄ネットに入れる
- ②常温水に洗剤は通常の1/5程度入れ、ソフト洗いコースで5分間洗う。
- ③すすぎは1回。
- ④ハンガーを裸で洗う場合は、排水だけで脱水(絞り)はしない。高速回転に入る前の機械力で折れることがあります。
- ⑤乾燥はポリ樽に束ねたままか、ラックにかけるか、ネットのまま一晩置けば乾きます。



## ハンガー回収・再使用店の実例

	内容	PR方法・会社のコメント
A社	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>デポジット製</b>。ハンガーの種類に関わらず1本10円。</li> <li>◆クリーニング料金とは区別し、伝票にハンガーの貸し出し料金として明記し保証金としていただく。</li> <li>◆ハンガー代が返されたら、レジの返金入力をし、クリーニング代と相殺する。</li> <li>◆他店のハンガー持込については保証金をあずかっていないので返金できないことを説明している。</li> <li>◆折損品についても、お客さん消費したということで受け付けない。</li> <li>◆再使用のため、水洗機（湯・洗剤）で洗浄</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自社製作のポスターを掲示。</li> <li>■販促用のDVDの中でハンガー回収をPR</li> <li>■<b>受付での声かけが大切</b>。クリーニング料金の上乗せではなく、ハンガーの保証金であることを説明し、「ハンガーまた持ってきてくださいね。」 「ハンガー代はお返ししますから。」</li> <li>■平成12年度から実施。現時点での<b>回収率は64%</b>。お客様に認知され、定着されている。</li> </ul>
B社	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆約3年前から実施。全て1本5円で回収。<b>06年9月より無償回収にしたが、回収量はかわらない。</b></li> <li>◆10月で1日のハンガーの使用数は100本程度だが回収量は1日70本程度（<b>回収率70%</b>）</li> <li>◆自店で使用していないハンガーが来ても、受け取る。お客様に選別させる負担はかけたくない。そのハンガーは産廃に出す。</li> <li>◆折損・変形・ひどい汚れがあるものは返ってこない。</li> <li>◆洗浄はポリ樽の中のジェット水流で洗い、エアーで水を吹き飛ばした後、タオルで拭く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ポスターなどの掲示はしない。1人1人に説明をした。</li> <li>■回収する理由は、             <ol style="list-style-type: none"> <li>①お客様の所で余ったハンガーは邪魔なものであるから引き取れば喜んでもらえるはずだ。</li> <li>②物は大切にすべきだ。</li> <li>③石油は有限資源だから。</li> </ol> </li> <li>※<b>ハンガー代のコスト削減は念頭にない。</b></li> <li>■無償化に変えた時も「クリーニングの材料費が値上がりし、再利用の経費もかかるので有償引取りができなくなった。」と1人1人に説明した。 <b>お客も「引き取ってくれるだけで助かる。」という</b>ことで反発は皆無であった。</li> </ul>
C社	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆有償回収で初めは1本10円のクリーニング券と交換。</li> <li>◆<b>コスト面から合わないと思ったが、回収を定着させる為、キャンペーンとして行った。</b></li> <li>◆次に10本で10円のクリーニング券にした。</li> <li>◆現在は1本で1ポイント。30ポイントで100円値引き。</li> <li>◆自店で使用していないハンガーは受けるがポイントはなし。</li> <li>◆洗浄方法はハンガーを洗浄ネットに入れ、泡が立たない程度に洗剤を入れて洗浄。ハンガーの折れを防ぐために、35℃水洗機にネット10ケを入れている。脱水は1分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■PR方法としては、             <ol style="list-style-type: none"> <li>①自社で作成したチラシを店頭に掲示する。</li> <li>②セールチラシに回収を掲載している。</li> <li>③<b>受付で声かけを行っている。</b></li> </ol> </li> <li>■回収率は店舗によって異なるが、Yシャツ用は70～50% 他のハンガーは50～30%。</li> <li>■1本10円の時のほうが回収率は高かった。 10本10円で回収率は下がり、<b>1本1ポイントにしたら10%～20%上がった。</b></li> </ul>

「ゴミ減らし。」「使えるものは繰り返し永く使い。」「資源の節約に努める。」  
ことが大変重要な時代です。  
皆様のご協力をお願い申し上げます。